

「国立大学改革プラン」の公表を受けて（声明）

平成25年11月26日
一般社団法人国立大学協会
会長 松本 紘

このたび文部科学省が公表した「国立大学改革プラン」は、グローバル化、少子高齢化の進展、新興国の台頭などによる競争激化等の社会経済状況の変化の中で、各国立大学が、その強み・特色を最大限に活かした機能強化により、自主的・自律的に改善・発展に取り組むことを求めています。

国立大学は、これまで全ての日本人ノーベル賞受賞者をはじめ日本を牽引する社会のリーダーを輩出し、学部学生の育成、大学院教育の中核を担ってきました。また、地域の振興や我が国全体の成長発展、世界トップレベルの研究推進、発展途上国等の人材育成をはじめとした国際貢献に確固とした実績を残してきました。

さらに今日では、グローバル人材の育成やイノベーション機能の強化に向けて、教育システムの大胆な改革、優秀な若手・外国人研究者の積極的な採用、そのための年俸制を含む柔軟な人事給与システムの導入、社会人学び直しプログラムの提供など、各国立大学が持つ潜在力を最大限に活かし、世界をリードすべく学長のリーダーシップの下に大学改革に取り組んでいます。

国立大学協会では、本年5月に「『国立大学改革』の基本的考え方について－国立大学の自主的・自律的な機能強化を目指して－」を公表し、国民の皆様国立大学全体としての改革の方向性をお示したところです。

今回の「国立大学改革プラン」の内容は、このような国立大学のこれまでの取組を後押しするものであり、先の「日本再興戦略」と併せて、国立大学に対する国民や社会の強い期待の表れと受け止めております。

我々国立大学は、この期待に応え、それぞれの強み・特色・社会的役割(ミッション)を踏まえた機能強化を一層推進し、グローバル化、イノベーションの創出、人材養成機能の強化等を着実に実行していく決意であります。

各方面の皆様には、国立大学のこうした改革の取組についてのご理解をいただきますとともに、それらを支える財政面を含む基盤の確保について今後ともご支援を賜りますようお願いいたします。